広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話(3)0091番

畜産公害にとりくむ

畜産公害対策協議会が発足

ドジョウ・メダカの住める川に

最近のわが国経済の高度成長の反面には種々の公害が発生し、これに関する対策は今日の最大の課題とさえなっています。

伊方町においても養豚の多頭化飼育などによる畜産公害が発生し特に伊方大川流域では約四千頭の飼育が行なわれています。

この畜産公害の防止対策について、町、農協、飼育者が一昨年から糞尿処理施設設置のため先進地視察等を行ない研究してきました。

昨年から小規模飼育業者では、焼却炉による処理を行なっていますがこれにも悪臭等による問題が生じているありさまです。

しかし、処理施設の経費の理由で、このまま付近の住民に迷惑をかけたり、川や海を汚すことは、現代社会では許されません。

そこで、町ではこれの防止対策を強力に進めるため「伊方町畜産公害対策協議会」が発足しました。そして協議会に小委員会を設置し、防止対策にとりくむことになりました。この小委員会は町、議会、農協、飼育代表によって構成されています。

大川地域をモデル地区に

小委員会では、数回にわたる会議の結果、大川地域をモデル地区として処理施設の設置を申し合わせ、県経済連へ技術指導をお願いしています。

県経済連では農林省畜産試験場や神奈川県等の先進県の指導によって、つぎのような処理施設を計画中です。

この構想は大川流域の豚の糞尿を共同で処理する方法です。

豚舎からでる汚水は振動フルイ機械によって固液分離が行なわれさらに液体は瀑気槽で浄化され希釈水によって、きれいな水となり放流される仕組です。

この処理施設は、愛媛県では二カ所工事中ですが、本町においても検討を行なうため、近く現地測量にとりかかる予定です。

そしてこの処理施設の成果が確認できれば多頭化飼育地域に順次設置促進をはかる計画です。

町の環境目標である「水泳がどこでもできる海」「汚水の流れないい川」「ドジョウやメダカの住める川」に一日も早く、もどしたいものです。

伊方大川沖合で海水採水

—第一回水質調査実施—

海のよごれや川のよごれを科学的に調査するため、県環境生活局と町が水質調査を実施しました。

九月六日、七日の二日間伊方港、九町港とそれに伊方大川九町新川、伊方新川の海水、流水をそれぞれ採水して調査しました。

調査は干潮時と満潮時に一回づつ行なわれました。

海水は伊方港で六カ所、十点採水、九町港では三カ所四点を採水しました。

調査項目はPH（水素イオン濃度）、DO（溶存酸素）、COD（化学的酸素要求量）、BOD（生物化学的酸素要求量）などです。

県下一斉の公表は十一月頃の予定ですが、これによってこんどの公害行政にとりくむうえでの基礎資料として非常に役立つものと期待されます。

データーが判明したい広報等で広くみなさんにお知らせします。

海・川には捨てないように

ゴミ処理場利用 49%

本町のゴミ収集は七月十五日から開始していますが、このほど生活環境課ではどのくらいの人が町のゴミ処理施設を利用しているか推計してみました。

それによりますと、ゴミは一日三、五トンから四トン集められています。

そしてこの量は約四千五百八十人分に相当します。

しかし、町全体の利用率からみれば四十九・一%にすぎません。

地域別に推計をしますと、伊方地区で六十五・三%、町見地区では約すかの十九・二%となります。部落別の利用順位は、つぎのようになっています。

◎伊方地区

一位 川永田 二位 湊浦 三位 大浜

◎町見地区

一位 久保 二位 鳥津 二位 向

この利用状況については、収集回数や地域的な問題がありますが部落内の美化を阻害します関係上、とりやめました。

部落別の収集日と時間を定めて集めることになりました。

収集日などくわしいことについては部落区長さんを通してお知らせします。

農業ビンにつきましては、適当な時期に一括まとめて収集する予定でいますので普通ビンといっしょに出さないようにしてください。

この還暦講座は七十年代の社会教育の一つとして他の市町村に先だけ行なわれたもので、生涯教育のうえからも画期的な行事です。

人生五十年といわれた時代は遠の昔、平均寿命の延長によって、五十才、六十才はまだまだ若く、還暦となった六十一才から第二の人生を踏みだすわけです。

こんど、第二の人生の出発を祝すとともに、つぎのジャンプ台の段階である古稀（七十才）、喜寿（七七才）、米寿（八十八才）白寿（九十九才）を突破して人生優秀の美を飾ってください。

残飯類は水をきって

ゴミをだすときには、必ずつぎの事項を守ってください。

一、付近の人にたいへん迷惑になりますから「早くからゴミを出さないこと」収集車が集めたあとは絶対に置かないこと。

二、紙類と残飯類は必ず別々の袋に入れ、口をしばっておくこと残飯類は家で水分をきってから出すこと（ポール箱等には入れないこと）

三、袋の中に燃えない物も絶対に入れないこと。

「ビン」「カン」の収集方法が変更

「ビン」「カン」の収集方法を変更しました。

「ビン」「カン」は当初、ドラム罐で収集を予定していましたが、部落内の美化を阻害しますので、中止しました。

◎みなさんのご協力によって、住宅に近の環境を美しくして、カやハエのいない、そしてゴミのない環境をつくりましょう。

還暦講座開かる

第二の人生を楽しく

本町では、初のこどもみの還暦（六十一才）講座が七月二十一日中央公民館で開かれました。

これは、ことし六十一才を迎えた人たちを対象にして行なわれたもので、町内五十三人の該当者のうち約半数の二十五人が出席しました。講座には、八幡浜市教育指導員中岡忠氏を講師に迎え、第二の人生をしあわせに楽しく送る七原則など、有意義な講話がなされました。

◎三守則

一、関暇に堪える
二、孤独に堪える
三、不安に堪える

杜氏組合

酒造り永年勤続表彰

西宇和杜氏組合（田中善吉組合長＝仁田之浜＝）では、八月十九日の総会の席上、同一酒造場へ永年勤続した杜氏さん、倉夫さんを表彰しました。

杜氏部門は二十年以上、倉夫部門では十年以上同じ酒造場へ連続勤務した人たちで杜＝六人、倉夫二十九人が表彰されました。ひと口に十年、二十年連続といえますが、簡単にはできぬ仕業です。

この表彰のなかには門口俊晴氏（大浜）のように杜氏として三十三年間も同じ酒造場で酒造りにはげみ現在にいたっている立派な方もおられ、酒屋では親子二代の当主につかえ、家族同様の扱いを受けているとか……。

こうしたことは、古い伝統と優秀な酒造技術の上につちかわれたもので、被表彰者に心から讃美の拍手をおくりたいと思います。

表彰された方々はつぎのとおりです。

杜氏部門 六人

門口俊晴（大浜） 高橋貫太郎（大浜） 堀内初雄（大浜） 清水房一（小中浦） 根来与市（西）

倉夫部門 二十九人

◎大浜
矢野与平治、高橋哲夫、吉田集、宮崎一昌、堀内喜高、堀内喜一、吉谷利一、向賀瑳、中藤三市、河野菊永雄

◎中之浜
磯野定光

◎仁田之浜
田中武彦、上田泰一郎

◎河内
安部安、藤堂寿雄、大森文太郎

◎湊浦
山本勇、梶田広明、梶谷光夫

◎小中浦
井上藤樹、河野森市

◎中浦
西野木太伊、山本優

◎川永田
桜谷藤長

◎伊方越
井関猛

◎亀浦
宮内春長、阿部久、山口秀明（敬称略）

内町 一番の長寿は大通さん 96歳

みんなで楽しい老後を

九月十五日は「敬老の日」。この敬老の日は、多年にわたって社会の進展に寄与してきたおじいちゃん、おばあちゃんを敬愛し安らかな生活ができるようにと九月十五日を「敬老の日」として国民の祝日に加わえられたものです。

そこで町では、敬老の日を記念して町内のお年寄り番付をつくってみました。

この番付は紙面のつごうで九月十五日現在の満年令で女子が八十八才、男子に八十五才以上のお年寄り三十人を掲載しました。

これをみますと、町内の最高長寿は小中浦の大通カツさんがトップで満九十六才です。男子の最高は鳥津の竹上寅之助氏の九十二才です。

部落別にみますと川永田の七人が最も多く、つづいて小中浦の四人、豊之浦の三人とつづいており町内では川永田が一番の長寿部落といえましょう。

本町の六十五才以上のお年寄りは約千百五十人で、町人口の約十二%にあたる数字です。

この数字は全国平均の老人人口率よりもはるかに高く、長生きする町、または町全体の人口のうち若い層の都市への流失による老令化の町になりつつあるといえましょう。

こうしたお年寄りは、現在の伊方町発展の基をなした人たちです。

こんども健康に十分気をつけられ、ますます長生きされることをお祈りします。

また、みんなでお年寄りをいたわり、大切にしましょう。

八十五才以上に長寿祝金

町では、ことしから満八十五才以上のおじいちゃん、おばあちゃんに長寿の祝金として年額三千円支給することになりました。

本町には五十七人の該当者があり、さっそく敬老の日の敬老行事の席上で長寿のお祝状とともに支給されようこばれました。

＝米寿＝

ことし米寿（八十八才）を迎えられたつぎの方々が、米寿を記念して県知事より木盃、町長よりお祝状と赤い座布団を贈りました。

矢野 ウタ（湊浦）
松岡 ワキ（湊浦）
高石ハマヨ（豊之浦）
中田 仙松（豊之浦）
窪野 吉佐（久保）
川田 清記（古屋敷）

お年寄り番付

勧進元（伊方町）

昭和46年9月15日現在調の満年令

◁いつまでもお元気で▷

東方

位置	氏名	住所	年令
横綱	大通 カツ	小中浦	96才
大関	吉川 フク	川永田	96
関脇	三好 イセ	湊浦	94
小結	辻 カヨ	小中浦	93
前頭	木戸 マヨ	河内	92
2	宇都宮ヤイ	川永田	91
3	篠上 ワキ	川永田	91
4	二宮 ゲン	河内	90
5	松田 ミカ	仁田之浜	90
6	山口 カツ	西	90
7	三根生トラヨ	須賀	89
8	井上コマツ	小中浦	89
9	菊池 モセ	川永田	89
10	岡田 ヤツ	川永田	89
11	米井 ワキ	大浜	88
12	新口 ナカ	大浜	88

西方

位置	氏名	住所	年令
横綱	竹上寅之助	鳥津	92才
大関	渡辺 幸助	湊浦	92
関脇	川内 安吉	向	91
小結	辻 政市	豊之浦	91
前頭	葛城 象栄	中之浜	89
2	川田 清紀	古屋敷	89
3	中田 仙松	豊之浦	87
4	窪野 吉佐	久保	87
5	佐々木秀吉	古屋敷	86
6	林 勝太郎	仁田之浜	86
7	岩井 鹿市	小中浦	85
8	高月海三郎	川永田	85
9	井上忠太郎	豊之浦	85
10	大星 政一	川永田	85

紙面のつごうで女子は88才、男子は85才までにしました。

図書館を開館

中央公民館へどうぞ

昨年九月から図書館の開館準備を急いでいましたが、このほど中央公民館内に準備を完了し開館のはこびとなりました。

約八百冊（献本図書含む）の図書がそろいみなさんのおこしを待っています。

開館時間は午前九時から午後四時までとなっています。

現在、学校、老人クラブの人たちに貸出しを行なっていますが、家庭で読みたい方には、貸出しも致します。

また、県立移動図書館「いよしま」も六十冊の本を積んでまいります。読みたい本があれば前もって申出てください。

みなさんのご家庭で利用済の図書、または新本を寄贈していただくものがありますれば、どしどし献本してください。広くみなさんに有意義に利用していただきたいと思います。

自衛隊父兄会が発足

隊員の激励慰問を

伊方町自衛隊父兄会が発足しました。

六月二十四日役場会議室で設立総会が開催され発足したもので、当日は自衛隊愛媛地方連絡部長、愛媛県自衛隊父兄会連合会長、池田清吉大洲分駐屯所長（古屋敷出身）を迎え、町出身の自衛隊員の父兄多数が出席し行なわれました。

この父兄会は、町出身隊員（六月末現在二十八人）の激励や慰問を行い、父兄会を通して会員相互の親睦をはかるためできたものです。

昭和四十六年度事業のなかには、松山市小野駐屯部隊の施設見学、隊員の激励、隊員募集への協力を計画、慰問は九月に予定されています。

総会の席上、役員選出が行なわれ、つぎの方々が役員に任名されました。

地方連絡部長を迎えての設立総会風景

会長　樫尾　寛（田之浦）
副会長　井上鹿之助（川永田）
理事　山本　兼弘（湊浦）
〃　二宮　勝（伊方浦）
〃　池田　六男（古屋敷）
〃　堀内　保（向）
監事　大谷　儀作（湊浦）
〃　玉井　強（田之浦）
（敬称略）

おめでとう　久保君（町中）

四国総体で優勝

第九回四国中学校総合体育大会が八月二十二日高知市陸上競技場を中心に行なわれ、町見中学校三年生の久保正彦君（写真）が見事陸上三種競技で優勝しました。

三種競技は「より速く、より高く、より遠く」のことばのとおり百メートル、走高とび、砲丸投の三種目の総合点によって競う競技です。

久保君は百メートル十三秒〇、走高とび一メートル六十四、砲丸投十二メートル〇三の記録で総合得点千五百十二点をだし、四国一の栄冠に輝きました。

このことは本町有史以来の快挙です。

久保君は大ホープ方能選手で町見中学校では野球選手としても一流で三塁をまもるチームの四番バッタで活躍しています。

卒業後の抱負として「高校進学します。松山市の野球名門校を志望しています。自分としては陸上競技より野球に興味があり、高校では勉学とともに野球一筋にまい進したいと思う」と、現代っ子らしい答えがはねかえってきました。

久保君のこんごの活躍をおおいに期待します。

伊方中水泳プールスタンドが完成

伊方中学校水泳プールにスタンドが完成しました。

同校の水泳プールは、昨年の夏オープンし、一般にも開放していましたが、競技大会を行なうにもスタンドがなく不便を感じていました。

町ではこれらの悩みを解消するため工事費１２０万円で長さ２０メートルの階段式スタンド（階段６段）をつくりました。

収容人員は約300人です。この伊方中プールのスタンドが完成した記念に、伊方体育振興協会では第２回水泳大会を開きスタンドの新設をよろこびました。

新設なった伊方中学校のプールスタンド

国民年金

社会保険庁長官表彰

国民年金事務優秀市町村として伊方町が社会保険庁長官から表彰されました。

この表彰は国民年金事業が優秀であり、その業績が認められ表彰されたものです。

このことは、町民のみなさんが国民年金事業に対する深いご理解の賜ものが、こうした表彰の栄に輝いたものです。

こんご、この名誉ある表彰を基にみなさんのより一層のご協力をお願いします。

農業をやめる人　離農給付金がもらえます

農業者年金基金法のなかに離農給付金の制度があります。

年金に加入できない五十五才以上の人や、所有農地面積が三十アールから五十アールの人でその農地を全部、一定の要件で処分して農業をやめた場合に支給されます。

給付金の額は、五十五才以上の人で一定の要件にあてはまる人は三十五万円、それ以外の人には十五万円です。

なお、離農される方で離農給付金を受けたい人は一年前に離農計画書を出すことになっております。くわしいことは、町農業委員会におたずねください。

広野さん知事表彰

永年にわたり国民年金事務に従事されている広野夏子さん（町見支所勤務）が県知事から表彰されました。

広野さんは国民年金事務畑のベテランで十年年金の発足当時から事務に従事されており、年金事務に尽した功績で表彰の栄に浴したものです。

＝お　礼＝

大分県大字志屋三組一一二二の一にお住いの芝尾慶子さん（浜浦出身）より一千円。

茨木市沢良宜東町十の十一にお住いの荷野勝喜氏（豊之浦出身）より二千円。

北九州市若松区西畑町七丁目二十七にお住いの宮脇栄左エ門氏（川永田出身）より三千円。

埼玉県川口市本郷字右郷堂三二八の四にお住いの後野正志氏（加周出身＝元町見中学校長）より二千円。

福岡市清水町三丁目二三の十二にお住いの西野守政氏（中浦出身）より二千円。

寝屋川市大字神田四十五にお住いの兵頭幸茂氏（九町出身）より二千円。

名古屋市農区小碓町二十九番割九十八番地住友化学第二小碓アパート二五二号にお住いの三好秀彦氏（九町出身）より千円。

大分市弁天町四－一九にお住いの木戸義満氏（大浜出身）より五千円。

兵庫県尼崎市三反田字若松三二にお住いの畑中俊治氏（仁田之浜出身）より二千円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

湊浦の田口三生氏より一万円、野村安栄氏より三千円、それぞれ湊浦老人クラブへ寄付されました。

これは湊浦の老人クラブ活動費に役立てほしいと恵与されたものです。

同老人クラブでは、このあたたかい善意に深く感謝しています。

また、井桜敬勇教育長より図書館へ獅子文六全集十六巻、家庭教育辞典一巻の献本がありました。

川永田の小池マス子（笠名中山芳勇妻）さんより一万円、社会福祉事業のためにと寄付されました。これは八月二十二日伊方小学校講堂で行なわれた舞踊発表会の御花を寄付されたものです。

町ではこの尊い浄財を更生金庫を通じ恵まれない人たちに役立てることにしています。紙上より厚く、お礼申し上げます。

人

昭和46年7月現在
世帯数　2,466戸

人口　9,332（男 4,442人　女 4,890人）

えんむすび

昭和46年6月1日
6月30日

お誕生　おめでとう

昭和46年6月1日
6月30日

おくやみ

昭和46年6月1日
6月30日

えんむすび

昭和46年7月1日
7月31日

お誕生　おめでとう

昭和46年7月1日
7月31日

おくやみ

昭和46年7月1日
7月31日